



INFORMATION MAGAZINE THE JOURNAL

ザ・ジャーナル!!

National Hospital Organization Okayama Medical Center

Vol.5
No.2

やさしさ便り～岡山医療センターの今

CONTENTS

地域医療支援病院
がん診療連携拠点病院
岡山医療センターの理念

人にやさしい病院をめぐって
-Human Friendly Hospital-

- 1 患者さまにやさしい病院を目指します
- 2 病院で働く人にやさしい病院を目指します
- 3 地域の人にやさしい病院を目指します

特集 麻酔科・集中治療科

- 2 麻酔科・集中治療科の紹介
- 4 センター NEWS
- 7 リソースナース室通信
- 8 看護学校通信
- 8 附属看護助産学校(仮称)生徒募集
- 9 健康レシピ
- 9 地域医療連携室 連携診療施設紹介
- 10 コラム 接遇について
- 10 健康ワンポイントレクチャー
- 11 病院のはなし
- 11 臨床検査科のCoffee Break
- 12 TOPICS!
- 12 編集後記

表紙写真：2010.8.7 夏祭り
撮 影：近藤 博行

株丹 浩二 text by Kabutan Koji

麻酔科医の仕事

麻酔科医の仕事の多くは患者さんの意識のない状態で行われるので、手術を受けられた患者さんにとってはなじみのないものと思います。そこで少し麻酔科医の仕事について説明させていただきます。

手術は痛みだけでなく、手術刺激や出血によって身体に悪影響を及ぼし負担をかけます。麻酔科医は痛みや意識をとることによって患者さんの苦痛をとるだけでなく、適切な輸液や輸血を行い身体への負担を軽減します。また手術中は手術操作や全身麻酔のために自分で呼吸をすることが困難になるため、気管挿管といったどの奥に管を入れて人工呼吸を行い確実に呼吸を助け手術時の安全性を保っています。このように意識をなくし痛みを感じなくさせるだけでなく、身体への負担を軽減したり安全性を保つことを総合して麻酔管理といいます。このため麻酔科医は手術の開始前から手術が終わって目がさめたあとまで、患者さんのそばにいて状態をみまもり必要な処置をしています。

一方麻酔管理に必要な気管挿管や人工呼吸、循環の管理といった技術を活かして、呼吸や循環に障害をきたした重症患者さんの治療を集中治療室において行っています。

手術室での麻酔

当院手術室では年間5,000件を超える手術が行われており、そのうち麻酔科が麻酔管理を行うものが約2,900件あります。このうち全身麻酔症例が2,650件、脊椎・硬膜外麻酔が250件行われています。近年では作用時間の短い強力な鎮痛薬を使用することによって、手術中の身体への負担を軽減するとともに、手術後の安全性の向上を図っています。また、背中や手足の付け根から神経の近くに管を入れて痛み止めの薬を持続的に入れたり、あるいは点滴から持続的に痛み止めの薬を入れたりして、手術後の痛みを軽減する努力を行っています。



ICU風景

集中治療室(ICU)での呼吸循環管理

ICUは、命に関わるような大きな手術を受けた後の患者さん、呼吸の状態が悪くなった患者さん、血圧がひどく低下した(ショック状態)患者さん、などの治療を行う病棟で、当院では24時間体制で麻酔科医が常駐し患者さんの治療にあたっています。患者さんの呼吸の状態に合わせた人工呼吸療法、ショック状態や尿の出なくなった患者さんの血液から毒素を除去する血液浄化療法などを行っています。

ICUには、年間約370名の患者さんが入室され、多くは心臓の手術後や食道癌根治術といった身体への負担の多い手術の術後の方で、数日の全身管理ののち一般病棟へ移ります。また敗血症性ショックという菌の毒素が全身にまわる重篤な感染症の患者さんなど手術後以外の方も入室されます。全身管理は1週間以上と長くなることも多いですが、回復して一般病棟へ移られ、退院時にICUを訪問される方もおられます。

病棟での活動

患者さんの状態に合った最適な麻酔を行うために、術前検診を行っています。手術を受けられる患者さんには手術自体と同様に麻酔についても不安が多くありますので、このときに麻酔についても説明をして、できるだけ不安等を軽減できるようにしています。また、病棟での人工呼吸療法を支援する呼吸サポートチームでの活動や急変時の治療（ICLS）を支援する訓練等も行っています。

麻酔科スタッフ紹介

麻酔科は現在スタッフ8名で、病院の中央部門である手術室での麻酔と集中治療室での治療を行っています。麻酔および集中治療の専門医も多く、当院は日本麻酔科学会認定病院および日本集中治療医学会の専門医研修施設に認定されています。



麻酔風景

スタッフ紹介

谷口 正廣 たにぐち まさひろ

診療部長・麻酔科医長・手術室運営室室長、
麻酔科専門医

株丹 浩二 かぶたん こうじ

麻酔科医長・集中治療室室長、
麻酔科指導医・集中治療専門医

大橋 一郎 おおはし いちろう

呼吸サポートチーム(RST)室長、
麻酔科指導医・集中治療専門医

鈴木 俊輔 すずき しゅんすけ

日本救急医学会ICLSコースディレクター

小野 剛 おの つよし

麻酔科指導医

清水 啓子 しみず けいこ

麻酔科認定医

前田 麻里 まえだ まり

麻酔科認定医

鈴木 聡 すずき さとし

麻酔科専門医

麻酔科医は直接患者さんとお会いする機会は少ないですが、手術を安全に受けていただくため、あるいは重症な状態となられたときの治療を支援するために働いています。目に見えないところで働いていますが、決して怪しいものではありませんのでご安心ください。



センターNEWS

OKAYAMA MEDICAL CENTER



今年もやってきました夏祭り!



今年の夏は、夏らしい!夏となり大変暑い~中での「夏祭り」の開催でした。毎年恒例となり、実行委員メンバーの一人一人がそれぞれ役割を果たし、一丸となり頑張りました。(みんな準備も慣れたもので“さすが!”でした・・)また、今年も盆踊りの練習は、地域のボランティアの方々にご教壇をいただき、当日は“楽しく踊る”ことができました。みんなが楽しみにしている屋台は、特に新人ナースの皆さんが大変頑張ってくれました。どのコーナーも大変美味しかったです。地域の方々も多く参加いただき楽しい夏祭りでした。みなさんおつかれさまでした。

■副看護部長 井原 光枝



放射線科の夏祭り

岡山に来てはや半年。就職してトウモロコシを焼くとは思いませんでした…17時15分。仕事が終わるとともに技師服からTシャツに着替え、下に降りると既にカレーのいいにおい。どこかで見た覚えのある美人さん達の浴衣姿が艶やかです。先輩は軽快に声を掛けながらトウモロコシを売りさばいています。そう、今日は病院のお祭りです!とりあえず売り物のトウモロコシをかじりながら(味見ですから。お客様においしい焼きトウモロコシを提

■放射線科 椿 敬太



供しなければ)仕事の流れを確認。

その後は焼いては売り、焼いては売りを繰り返し、あっという間に完売!大盛況です!

初めての病院行事、タレを何度も重ねてこんがり焼けたトウモロコシのように、私達も経験を重ねて立派な技師になることを誓いました。

…気がつけば僕の腕もこんがり焼けていました。お買い得ですので、誰かもらってください。賞味期限が切れそうです。

見事!! 卓球大会準優勝

6月20日(日)川崎学園総合体育館で第45回病院職員卓球大会があり、県内19施設27チームによる団体戦で岡山医療センターチームは見事、準優勝しました。試合はシングル戦4試合、ダブルス戦1試合の合計5試合で行われ、光明園2名を含む8名で戦いました。日頃の練習不足にもかかわらず優勝候補を次々と奇跡的に倒し、気がつけ

■臨床検査科 有江 潤子



ば決勝戦まで勝ち上がっていました。決勝戦では川崎大学附属病院に3-2。あとわずかなところで優勝杯に手が届きませんでしたが、手に汗握る試合の連続で久しぶりに興奮してしまいました。毎年この大会に勝つことを目標に練習していますが、予選リーグを勝ち上がることも難しいと思われた中での準優勝は、たまに体育館の片隅で寂しく練習している私達の大きな自信になりました。来年こそ優勝するぞー!!



快挙! 公的5病院テニス大会優勝!!

■臨床検査科 佐藤 正和

6月27日(日)浦安テニスコートにおいて岡山市内の公的5病院テニス大会が開催されました。

ここ3年間雨天のため開催が見送られてきましたが、今年には天気とメンバーに恵まれ見事悲願の優勝を勝ち取ることができました。

この大会は、昭和48年に始まり

第1回大会に優勝して以来の35年ぶりの快挙です。

出場した名誉ある選手を紹介します。
中原進之介(整形外科)、安藤陽夫(呼吸器外科)、
時政雄平(呼吸器内科)、若槻雅敏(スーパーローテイト)、
川端隆寛(スーパーローテイト)、
網岡尚史(スーパーローテイト)、
酒井靖子(神経内科)、粉川怜子(スーパーローテイト)、
浅沼花織(看護部)、佐藤慈子(臨床検査科)、
佐藤正和(臨床検査科)

毎週土曜日、朝8:30から練習
していますので参加してみませんか。



今年もレガッタ!!

■初期臨床研修医 渋川 昇平

毎年、岡山大学医学部ボート部主催の鹿田レガッタが百間川の河川敷で開催されます。岡山医療センターの有志で数年前から参加しています。今年も7月中旬に開催され、当院から3艇出場しました。あいにく当日は朝から雨模様でしたが、会場の盛り上がり伝わったのか午後にかけて天候は回復しました。レースは1艇が敗者復活を遂げて準決勝まで進出しましたが、惜しくも決勝まで進む事はできませんでした。今年も有志の先生のもとバーベキューや絶品料理でおいし

く、楽しいレガッタでした。来年も是非たくさんの方々に参加していただき、盛り上がることを期待しています。



ハワイアン音楽・フラダンスの夕べ

■理学療法士 安藤 可織

8月18日(水)の夏の院内コンサートは「ハワイアン音楽・フラダンス。」がテーマ。マウナハワイアンズにご来演いただき、私安藤と、8A病棟宮岡看護師、9B病棟山本看護師が、目下修行中のフラダンスをご披露いたしました。ゆるやかなテンポから軽快な曲まであり、フラダンスをみたことがない人も楽しめたのではないのでしょうか?私はフラダンス歴2年になります。フラダンスの手の動きには一つ一つ言葉

の意義があり、踊りを通して言葉の意味・ハワイについて学ぶことができます。また膝を常に曲げた状態で踊りますので予想以上の運動にもなりますよ!院内には、



私以外にも約10人の愛好家がありますが、様々なステージに出発しています。もしよかったら、読者のあなたも一緒にハワイアンの世界(フラダンス)に入ってみませんか?

夜もバッチリ… 夜間照明がつけました!

当院は、山陽自動車道に隣接した立地で、周囲は宅地・農地ばかりですので、日中は要塞のような外観が威容を放っています。しかし、夜間になると、闇に包まれ、何の施設なのか認識が難しいという問題がありました。そこで、高速道路からも認識可能な5階東側壁面に、『岡山医療センター』の夜間照明を設置いたしました。夕方、日没とともに、病院マークと病院名称がLED照明によってブルーに浮かび上がる様子は、一種幽玄な趣さえ醸し出しています。日中来院される多くの患者さんは、まだ見たことがないと思いますが、夕方に、近くを通り過ぎることがあれば、ちらっと眺めあげ



てみてください。今までとは少し違う、フレンドリーでミステリアスな「医療センター城」が浮かび上がっていますよ!



地元チームを応援しよう! ファジアーノ(サッカー)、シーガルズ(バレー) 支援自動販売機が設置されました!

皆さんはご存知ですか?当院内にいったい何台の自動販売機が設置されているかを?実は合計14台もあるんです。そのうちの2台が、今回ご紹介する『応援自販機』です。3年前、看護学校新校舎の竣工に合わせて、看護学校内に『岡山シーガルズ』自販機が設置されましたが、今回は、本館1階の職員通用口の前に、『ファジアーノ岡

山』自販機が設置されました。収益はすべて各チームの支援に充てられます。

皆さんも、ジュースを飲んで、地域のスポーツ振興に頑張っている両チームを応援しましょう!!

みんなで
応援してね!!



『岡山シーガルズ』自動販売機



『ファジアーノ岡山』自動販売機



看護学校300円機 看護学校200円機 自販機専用 自販機専用

第5回地域医療連携の集い開催!!

■地域医療連携係長 大西 芳明

当院では、毎年一回、連携医療機関の皆様と当院スタッフの交流の機会として、『地域医療連携の夕べ』を開催しています。5回目となった本年は、三河内院長、青山名誉院長の就任披露を兼ね、6月6日(日)に、昼食をとりながらの『地域医療連携の集い』として企画いたしました。休日にもかかわらず、院内外より155名の参加をいただき、盛会裏に執り行うことができました。ありがとうございました。新院長の決意表明に始まり、各医師会の先生方からお祝い・激励のお言葉と続いて、会は例年以上に和やかな雰

囲気で進みました。就任披露の後は、例年通りの交流会となりましたが、回を重ねても新しい発見や出会いがあり、「顔の見える連携関係」を維持していくことの大切さを実感いたしました。地域にしっかり根を下ろした医療を育むため、これからもご協力のほど、よろしくお願いたします。



病院食も地産地消で!

■栄養管理室 熱田 幸子



栄養管理室では入院患者さまへのフードサービス向上を目的とし、地産地消と題し地元・田益の食材を提供しています。きっかけは以前より当院玄関前で「ボランティア朝市」が行われており、患者職員の間でも好評を得ていました。この食材を何とか生かせないかと検討し「田益協栄」に賛同をいただき、昨年11~12月に食材を使用しました。「田益協栄」の皆さんの「是非、来年度もお願いしたい」という好意もあり、今年度は作付面積を広げて病院給食に対応できるよう各農家

の協力を得て、7月より納品を再開しています。それと同時に「サラダバイキング」を開始、地元食材の「サラダ」や「手作りドレッシング」を準備し、現在は週1回、昼食時に提供しています。患者さまからは「自分で選べて嬉しい。新鮮野菜がいい」という声をいただいています。今後は田益食材を使用した郷土料理、複数メニューの充実など様々な形で有効利用したいと考えています。



リソース ナース室 通信 Vol.6

平成22年度第一回リソースナース室研修会を7月1日に行いました。今回は「プロフェッショナルとしての看護実践を語る」というテーマでのシンポジウム形式で開催しました。専門看護師1名と5分野6名の認定看護師がそれぞれ自分達がプロとしてどのように看護実践をしているのかを語りました。約90名の参加がありましたが、それぞれの専門分野での活動を知る良い機会になったのではないのでしょうか。

今年度もあと3回研修会を行う予定にしていますので、ぜひ参加してください。

皮膚・排泄ケア認定看護師 小田上 真弓

皆さん、こんなことをしてほしい!というリクエストをお待ちしています!



認定看護師の活動紹介



活発な意見交換があったシンポジウム

施設見学を終えて

看護学校2年 松本 里咲

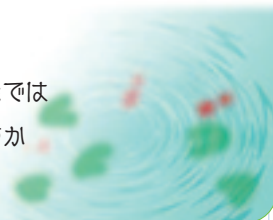
去る7月5日に邑久光明園を見学し、「ハンセン病療養所の看護について」学習する機会を得ました。

入所者居室訪問をさせていただき、患者様から直に発症から入所及び現在に至るまでの経過を伺った時には、非常に衝撃を受けました。自分がハンセン病だということを容易に信じがたかった思いや、入所を決意し人目をはばかるようにして入所された時の患者様の胸中を考えると、私達の想像も及ばない苦渋の日々だったのだらうと考えさせられました。入所後は、「長期入所の患者様の食事や排泄のお世話を、後から入所してきた自分たちがしていたのだ」というお話を聞き、驚かすにはいられませんでした。

辛く過酷な療養所生活を送ってこられた話のほかにも、時折故郷のことや日常生活のことを笑顔で話しておられました。日ごろは、囲碁や詩等の趣味にいそしんだり、バスで岡山市内に買い物に出かけたりもなさるそうです。ハンセン病に対する社会の理解が広まり、偏見や差別は減ってきているように思われますし、光明園職員の方々の支援に支えられ、患者様は以前に比べて格段に人間らしい幸せな生活を送れているのではないかと感じられました。しかし患者様自身にとっては、決

してそのように単純に割り切れるものではなく、その思いのたけを、詩に詠われています。私はその詩に大変感銘を受け、看護のあり方をも示唆してくれるものであったのでここに紹介したいと思います。入所者の皆様の穏やかな日々を願い、私達自身にできることは、そのような過去を背負いつつ現在を生きる方々の存在をもっと身近なことと認識し、この詩に詠われている様々な思いを心に刻んで忘れずにおくことだと思います。

金魚は小さい容器に入れて長い間飼っているよ
 大きい容器に移し替えても
 当分の間は小さい容器の範囲内しか動かない…
 数年前に一般社会という新しい大きな容器に移されよ
 それは嬉しいことには違いないが
 心身ともに後遺症を抱えよ
 平均74歳という老体の残存機能では
 この先どこまで泳ぎまわることができるだろうか
 (著者作品より一部抜粋)



助産師を目指すあなたへ 助産学科ができます(申請中)



独立行政法人 岡山医療センター
 国立病院機構 附属看護助産学校(仮称)

助産学科 平成23年度入学試験日程

	出願期間	試験日
推薦入試	12/1(水)~12/16(木)	1/6(木)
一般入試	1/4(火)~1/18(火)	1/25(火)



独立行政法人 岡山医療センター
 国立病院機構 附属岡山看護学校
 〒701-1192 岡山市北区田益 1711-1
 TEL: 086-294-9292 FAX: 086-294-9552
 岡山看護学校 HP: <http://okayamamc/gakko/>



栄養管理室 PRESENTS!

“残暑バテ”解消メニュー

残暑バテ
予防の
ビタミン
B群!!

今年は、残暑が厳しく、からだのエネルギー消費も激しく、少々お疲れ気味の方も多はず。そんなエネルギーを作り出すのに必要な栄養素を助けたり、材料になったりするのがビタミンやミネラルです。その中でもビタミンB群は、エネルギーを上手に作り出す手助けをする栄養素です。ビタミンB群をしっかり摂取して“残暑バテ”を吹き飛ばしましょう!

即席冷しゃぶサラダ

【作り方】

- ① お好みの野菜は食べやすく切っておく。
- ② 冷しゃぶ用の豚肉は茹でて、氷水に取り冷やしておく。
- ③ インスタントラーメンの麺は、麺棒などで砕く。
- ④ 皿に野菜を敷いて豚肉を盛り付け、食べる直前に砕いたインスタントラーメンを振りかけて出来上がり!

1人前
エネルギー:121Kcal
ビタミンB₁:0.46mg
ビタミンB₂:0.27mg
塩分:1.1g

【材料】

- インスタントラーメンの麺 1/8袋
- 冷しゃぶ用豚肉 60g
- お好みの野菜 たっぷりと
- ネギ 適量
- ポン酢 適量

POWER
UP!!
TOPICS

上のサラダだけでビタミンB₁は一日の必要量の46%、B₂は23%摂取する事ができます。また、間食にトウモロコシ一本を食べるとビタミンB₁、B₂は一日の必要量の約半分、摂取する事ができます。トウモロコシ一本にはビタミンB₁は0.3mg、ビタミンB₂は0.2mg含まれています!!他にもB群の多い食品には肉類や卵、牛乳があります。



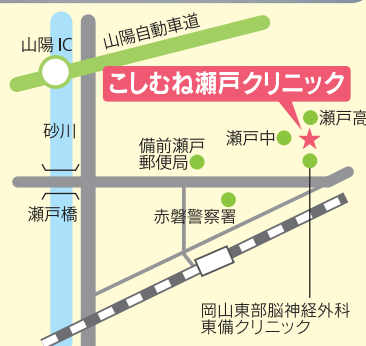
～地域医療連携室～ 連携診療施設紹介

こしむね瀬戸クリニック

越宗 陽平、越宗 あさこ



平成14年10月に岡山市東区瀬戸町に整形外科の私と耳鼻咽喉科の妻で無床診療所を開院以来、岡山医療センターには大変お世話になっております。山陽ICから直ぐの立地なので車で通院される場合に紹介し易いこともありますが、何よりも整形外科も耳鼻咽喉科も安心して紹介させて頂けることが第一です。水曜の午後は基本的には予約患者様のみの診療で土曜は13時まで受け付け、それ以外の曜日は8時半から12時半、15時から18時半までの受付で診療を行っております。CTやMRIは隣接している岡山東部脳神経外科さんで随時撮影して頂けます。今後は理学療法士や言語療法士を置いての治療を目指したいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。



住 所 岡山市東区瀬戸町
光明谷218-1
電 話 086-952-5330
診療科目 整形外科
リハビリテーション科
耳鼻咽喉科
休 診 日 日曜、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	●	●	●	●	●	9:00~13:00
15:00~18:30	●	●	(予約のみ) 13:00~16:00	●	●	

Column

接遇について

フリーアナウンサー
遠藤寛子



PROFILE 平成5年、山陽放送株式会社入社。在局中は夕方ローカルワイドニュース「山陽TVイブニングニュース」や県政・市政などのテレビ番組、スポーツ番組のリポートなどを担当。また、ラジオではお昼のワイド番組をはじめ、数多くの番組を手がける。平成12年に同社を退社後、フリーとして活動中。現在は、山陽放送テレビ・ラジオで朝の定時ニュース担当。またイベントや式典、ウエディングなど、様々なシーンでの司会進行でも活動を続ける他、マナー研修の講師も務める。

「つらかったんだね…」私に声をかけてくださった看護師さんの言葉です。

ふだんはおかげさまで健康体の私も、ごく最近手術を受けることになってしまいました。

体の負担もさることながら、心の方が痛んでいる状況でした。

泣くつもりはなかったのですが、いざ処置台に体を横たえた時、思いがけず涙が溢れました。

その様子に気付いた看護師さんが冒頭の一言を私にかけてくださったのです。

短い言葉でしたが、その時の私の気持ちにそれほど寄り添ってくれる言葉は他にはありませんでした。

その看護師さんには今も心から感謝しています。

医療の現場は多くの患者にとって“人間の本性”が現れやすい場だと思います。

自分の身には起きるはずもないと思っていたことが起こり、それはたいていの場合初めての経験です。

こんな時、人は言葉や態度に対するアンテナの感度がいつも以上に高くなっている状態にあるのではないのでしょうか。

医療者から発せられるメッセージは患者の心を救うことも、



また反対に大きく傷つけてしまうこともあります。

日頃から多くの患者と向き合わねばならない過酷な現場にいらっしゃる医療者の皆さんには心からの敬意を表しつつ、あえてお伝えするならば、なぜ、その言葉や態度を相手に発信することを選んだか、それによって何を伝えなかったのかを丁寧に考えること。

それは決して“何気ない”一言や応対であってはならないものだと思うのです。

また、大切なことほどできるだけゆっくとわかりやすく伝えること。

…これらは不特定多数の人が視聴する放送の送り手として携わってきた私自身が、頭を打ちながら省みて、心がけてきたことです。

接遇や話し方に大切なのは相手に対する思いやりであり、思いやりとは想像力です。

そこに、人に対する少しの丁寧さや優しさがあれば良いと私は考えています。

優しいまなざしで相手のことを見つめた上で、人に接し相手の気持ちに寄り添った言葉をかける、それが接遇の一番大切な考え方だろうと思います。



健康 Healthy ワンポイント One-point lecture レクチャー

骨盤底筋体操

30歳以上の女性の2割以上の方に尿失禁があると言われています。女性の尿失禁のほとんどは腹圧性尿失禁（くしゃみや体動時などのもれ）、切迫性尿失禁（待たがきかないもれ）のいずれか、もしくは両者が混合したタイプです。腹圧性尿失禁は、加齢などにより骨盤の底にある筋肉（骨盤底筋群）が弱くなるために生じます。今回は腹圧性尿失禁を改善もしくは予防するために有効な骨盤底筋体操をご紹介します。

骨盤底筋を正しく収縮させる

骨盤底筋を鍛えるためには、筋肉を正しく収縮させる訓練が必要です。しかし骨盤底筋と言われてもなかなかイメージが浮かびにくいと思います。まずは椅子にゆったりと腰掛けて下さい。肛門や膣の周りの筋肉を縮めてゆっくり3秒数えてみて下さい。人前でおならが出そうになった時に、きゅっと括約筋を収縮して我慢する感じです。体全体の力を抜いて、骨盤底のところだけきゅっと縮めて持ち上げる感じでやればうまくいきます。排尿を中断するときに使う筋肉は骨盤底筋群なので、トイレで排尿の際勢い良く出だしたところで一度中断してみる方法もあります。あまり頻回に排尿を中断すると出にくくなる場合がありますので、排尿中断は1日1回程度にしておきましょう。



骨盤底筋体操を日常に取り入れる

骨盤底筋体操の基本は、骨盤底筋を最初は3秒間、慣れてきたら10秒間収縮させ、それからリラックスする、これを毎日10～20分間繰り返すことです。10～20分といっても一気に行う必要はありません。例えば朝5分、寝る前5分布団の中で行ったり、家事の合間に椅子に座って5分行うなど、分けて行っても構いません。体操は腹圧性尿失禁が治っても、ずっと続けたほうが良いと言われていますので根気よく頑張ってみて下さい。

骨盤底筋体操を頑張ってみても効果がない場合には手術が必要になります。当院では女性の排尿障害には女性医師が対応しますので、気軽に受診してみてください。

近藤 厚生先生 加藤 久美子先生 監修 骨盤底筋体操パンフレットより引用

病院の Hospital Story はなし

第1話 病院の起源

医事専門職 河本 泰宏

「病院のはなしを書いてください」と依頼され「何がいいかなー」と思いながら原稿を書いています。

まずは、ご存じの方もいらっしゃると思いますが「病院の起源」に触れてみたいと思います。

世界での起源はいろいろと説がありますが、古代ローマ時代（紀元前500年頃～西暦500年頃）に野戦病院が各地に建てられ疾病兵の治療にあたったのが始まりで、4世紀（390年）にはファビオラという婦人が、ローマに巡礼者のための救護所を設立し、それがのちに市民病院になったと言われています。

また、ファビオラという人は、絶世の美女



フランシス・アリスー「ファビオラ」より

で、カトリックの聖女で離婚後キリスト教徒となり、巨額の資産を投じて貧民と苦勞を共にしながら病人を看病し、救療活動が愛の精神の最上のものであることを説いたと言われています。

日本での起源は、593年聖徳太子が難波の四天王寺内に貧困者・病人・孤児などの救済を目的とした悲田院、730年光明皇后の建てた施薬院が最初の医療施設、日本で最初の病院は、1557年にポルトガルの宣教師ルイス・デ・アルメイダによって大分県に開設され、西洋医学が初めて導入されたと言われています。

いつの時代も、貧困者・病人の救済、戦争などにより病院といわれるものが設立され、深い慈悲の心、無償の愛、病気を治療するという信念のもとに医療がおこなわれています。

当院の歴史も、昭和20年12月から陸軍病院より引き継いで国立岡山病院として発足しており、理念である「Human Friendly Hospital（人に優しい病院）」を目指してをあらためて見つめ直しています。

臨床検査科の



Coffee Break

一杯目 生理検査室の生け花

当院では毎週月曜日にお花の配布があります。備前焼きの花瓶を寄贈されたこともあって、現在では各ブースに花が生けてあります。当検査室では華道経験者が数名いることから、お花を少しでも華やかに楽しんでいただけるよ



うにと、受付カウンターに花の名前を書いたカードとともに飾っています。ただ、実際に花を生けるとなると、その人のセンスも見られるわけですから、ちょっとしたプレッシャーに感じることも…。それでも、患者さまや同僚からほめられたりすると、何とも言えない至福のを感じるがあります。日々仕事に追われる中で、細やかではありま

すがホッと安らぎを与えられるような空間をこれからも大切にしていきたいです。生理検査室前を通るときには、ちらっと見て行ってください。

（臨床検査科 有江 記）

地域医療研修室

セミナー・講演会 (9月・10月・11月)



会場:当院4階大研修室
時間:19:30~20:30

日程	種別	演者
9月21日(火)	第102回初期治療セミナー 他科の方々のための整形外科の知識 骨折の初期治療—専門医までの橋渡し—	当院整形外科 塩田 直史
10月12日(火)	第33回薬剤師研修会 当院の泌尿器科診療最近の話題	当院泌尿器科医長 津島 知靖
10月19日(火)	第103回初期治療セミナー 他科の方々のための精神科の知識	当院精神科 岸口 武寛
11月16日(火)	第104回初期治療セミナー 他科の方々のための眼科の知識	当院眼科医長 江木 邦晃

教育研修部 研修だより

「インターンシップ 2010」を開催して

教育担当看護師長 森川 真美

7月26日から8月1日までの1週間でインターンシップを開催しました。応募者数は30名と予想を上回り、遠くは鹿児島から参加がありました。当院の魅力をできるだけ伝えたいと病棟での看護体験を中心に行い、患者さんへのケアの場面・医師を含めたカンファレンスなど見てもらいました。研修生からはとても良い印象を持っていただき、先日行われた看護職員採用面接試験には18名の研修生の受験がありました。担当者の方をはじめ皆さんの「人にやさしい病院をめざして」日頃から頑張っている姿にふれることで、研修生の心を掴んだのだと思います。本当にありがとうございました。今後も看護師確保・定着に努力していきたいと思ひます。



編集後記

お待たせしました!ザ・ジャーナル、今号もようやく発行の運びとなりました。こうも暑いと、編集部も夏バテぎみです。しかし、今回からホームページ運営室の面々も広報誌編集チームに加わることとなり、“拡大広報チーム”として賑やかにスタートしました。さらに試行錯誤しながら、より良い紙面を作っていきたいと思ひます。探査衛星『はやぶさ』の感動的な帰還は、「無駄を削る」という名目で「夢」までも削り取ろうとする仕分け人たちに見事に一矢報いてくれました。GDPは中国に追い抜かれ、円高円高と世知辛い昨今ですが、阪神タイガース特急は熱中症にもならず快調に飛ばしています。じっと心頭滅却して残暑をくぐりぬければ、何か良いことが待っているような予感がするのは、能天気な私だけ?ポジティブ思考で、秋風を引き寄せてがんばりましょう!
(大森 記)